

土木施設に係る防草対策工法検討事業について

平成27年 10月29日
鳥取県技術企画課

1 事業の目的・背景

道路の路肩法面については、雑草による道路施設の視認性の妨げを防止すると共に、法面火災による道路近接地域への延焼による被害の拡大を防止することを目的として、防草コンクリートを設置することとしている。

この防草コンクリートは、一般的にコンクリートの人力打設により施工していることから、施工延長が長い場合は、長期間の作業日数を要しているのが現状である。

さらに、コンクリートの打設後は、人力による表面コテ仕上げを行う必要があり、特に切土法面の法尻部においては、法面長1.5mまでコテでコンクリートをかき上げる必要があり、作業員の労力は多大なものとなっている。

また、近年、土木作業員が減少傾向にあることに加え、高齢化が進んでいる状況であり、作業員の労力の軽減を図ることも重要であると考えられる。

このような現状において、従来工法的人力打設ではなく、コンクリート吹付工法や二次製品の使用等により省力化と工期短縮ができないかどうか、経済性を踏まえて調査検討を行うものである。

2 標準横断面図

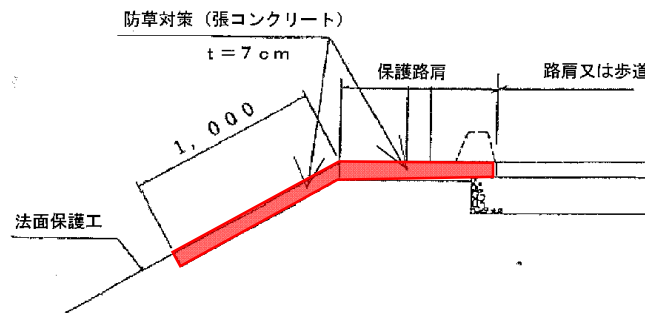


図 2-4-10 盛土部の場合 [参 2-7 p. 3-2-11]

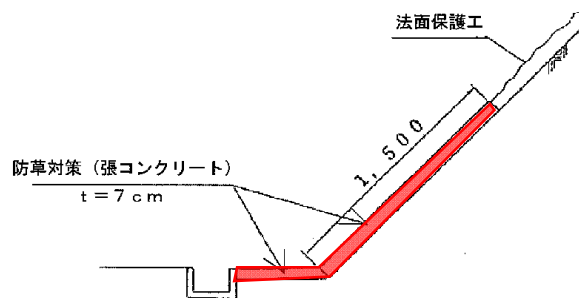
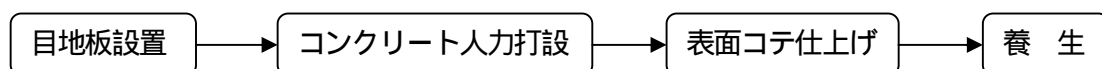


図 2-4-11 切土部の場合 [参 2-7 p. 3-2-11]

3 施工手順

(従来工法)



4 状況写真

【完成状況】



防草コンクリート
(切土部)

【防草コンクリート施工状況】



コテ仕上げが大変

5 業務仕様

(1) 事例収集及び工法選定

ア) 資料収集

現地調査(10箇所程度)により県内の施工実態を調査する。また、国土交通省や他都道府県の施工実態・事例に関する資料を収集する。

イ) 性能検証・比較検討

ア)により得られた資料に基づき、各工法の性能(機能性、耐久性等)の検証を行う。また、各工法について、施工性、経済性、施工期間等の比較検討を行う。

ウ) 工法選定

イ)により得られた比較検討資料に基づき、最適な工法を選定する。なお、工法選定にあたっては、施工現場の現場条件及び施工数量を考慮すること。

(2) 実施検討

ア) 施工歩掛検討

工法検討で得られた各工法について、施工歩掛設定に向けた検討を行い、歩掛(案)を作成する。

イ) 取りまとめ整理

工事実施に向けた課題等を取りまとめ整理する。

6 業務委託費用(概算)

防草コンクリート工法検討業務委託(契約先:公益財団法人鳥取県建設技術センター)

約1百万円

10月29日現在、委託契約手続き中